

1. 略歴

2007年3月	東京大学文学部言語文化学科日本語日本文学（国語学）専修課程 卒業
2007年4月	東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻日本語日本文学専門分野修士課程 入学
2009年3月	同 修了
2009年4月	東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻日本語日本文学専門分野博士課程 進学
2017年3月	同 単位取得退学
2017年10月	博士（文学）を取得（東京大学）
2017年4月	慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター 専任講師（～2023年3月）
2023年4月	慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター 准教授（～2024年3月）
2024年4月	東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

2. 主な研究活動

(1) 学位論文

『現代日本語の疑問文および質問表現に関する研究』、2017.10、東京大学、270頁

(2) 著書（単著）

『現代日本語疑問文の研究』、くろしお出版、2020.2、258頁

(3) 論文（単著）

「後置詞『ついで』と格助辞『を』」、『日本語学論集』、東京大学大学院人文社会系研究科国語研究室、第4号、2008.3、pp.(13)142-(24)131

「後置詞『をもって』の機能」、日本語学論集』、東京大学大学院人文社会系研究科国語研究室、第5号、2009.3、pp.(1)194-(14)181

「後置詞『によって』の機能」、『日本語形態の諸問題鈴木泰教授東京大学退職記念論文集』、ひつじ書房、2010.3、pp.217-230

「疑問文における終助詞〈ね〉と〈な〉」、『日本語学論集』、東京大学大学院人文社会系研究科国語研究室、第10号、2014.3、pp.(70)167-(85)152

「Wh 疑問文において『ノ』の有無が問題になるとき」、『日本語学論集』、東京大学大学院人文社会系研究科国語研究室、第11号、2015.3、pp.(70)187-(89)168

「疑問文における『ノ』のはたらき」、『国語と国文学』、東京大学国語国文学会、第92巻第10号、2015.10、pp.60-65
「意志をめぐる Yes/No 疑問文の表現機能—現代語と中古語の比較を通して—」、『日本語文法』、日本語文法学会、16巻1号、2016.3、pp.20-36

「言語的反応の観点による疑問文の分類」、『日本語学論集』、東京大学大学院人文社会系研究科国語研究室、第12号、2016.3、pp.(6)401-(31)376

「疑問文・疑問表現研究史」、『日本語学論集』、東京大学大学院人文社会系研究科国語研究室、第13号、2017.3、pp.(3)136-(34)105

「新しい話し手像に基づく疑問文研究の可能性—『ノ』の有無と『シヨウカ』を例として—」、『日本語と日本語教育』、慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター、第46号、2018.3、pp.1-29

「ノ無し疑問文と代弁的質問」、『国語と国文学』、東京大学国語国文学会、第96巻第1号、2019.1、pp.47-61

「発話としての文末『カ』の文」、『日本語と日本語教育』、慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター、第47号、2019.3、pp.1-18

「日常会話における文末『カ』の文の実態」、『日本語と日本語教育』、慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター、第49号、2021.3、pp.27-53

「話し手の行為について問う文—疑問文の歴史的対照の試み—」、野田尚史・小田勝編『日本語の歴史的対照文法』、泉書院、2021.6、pp.201-219

「江戸語のノ有り疑問文—多様な形式の使用実態—」、『日本語と日本語教育』、慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター、第51号、2023.3、pp.1-19

「近代におけるノデスカ疑問文の普及」、『日本語と日本語教育』、慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター、第52号、2024.3、pp.19-34

「近代におけるノ止め疑問文の台頭」、近代語学会編『近代語研究 第二十四集』、2024.3、pp.121-139

(4) 論文 (共著)

許明子・林淳子・八嶋康裕「場面理解に基づいた表現能力の向上を目指す文法教育—中上級レベルの日本語学習者の文作り及びインタビューの分析を通して—」、『筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター日本語教育論集』、第32号、2017.3、pp.21-34

(5) 資料解説・その他

(共著) 林淳子・靳園元・辻本桜介・北崎勇帆「東京大学国語研究室蔵黒川文庫目録〈語学之部〉あ〜け」、『日本語学論集』、東京大学大学院人文社会系研究科国語研究室、第11号、2015.3、pp.75-96

(共著) 林淳子・靳園元・北崎勇帆「東京大学国語研究室蔵黒川文庫目録〈語学之部〉こ〜そ」、『日本語学論集』、東京大学大学院人文社会系研究科国語研究室、第12号、2016.3、pp.110-142

(共著) 林淳子・靳園元・北崎勇帆・南雲千香子・田中草大「東京大学国語研究室蔵黒川文庫目録〈語学之部〉た〜わ」、『日本語学論集』、東京大学大学院人文社会系研究科国語研究室、第13号、2017.3、pp.28-52

(6) 口頭発表

『返事をさせる表現』の全体像—解答要求表現の位置づけを求めて—、日本語文法学会第15回大会、大阪大学、2014.11.23

「Yes/No ノ無し疑問文と代弁的質問」、日本語学会 2015 年度春季大会、関西学院大学、2015.5.23

「中古語における意志系 Yes/No 疑問文の表現機能—日本語歴史コーパス平安時代編を利用して—」、第8回コーパス日本語ワークショップ、国立国語研究所言語資源研究系・コーパス開発センター主催、国立国語研究所、2015.9.1

Multi-functionalization of Japanese Interrogative Sentences as an Application of Linguistic Culture. AEARU Young

Researchers International Conference、東アジア研究型大学協会主催、つくば国際会議場、2015.9.28

「日本語における話し手の意志をめぐる疑問文の選好傾向」、日本語教育国際研究大会 (ICJLE2016Bali)、ヌサドゥア (インドネシア・バリ)、2016.9.10

The Types of Interrogatives in Modern Japanese Language. The 2nd EAJS Conference in Japan、European Association for Japanese Studies 主催、神戸大学、2016.9.24

『文の種類』からみたノダ文研究—疑問文を例に—、土曜ことばの会 (オンライン開催)、2021.11.9

「準体助詞『ノ』の参画による疑問文型の多様化—近世後期と近代—」、近代語学会研究発表会 (オンライン開催)、2022.12.3

「ノとノデスカの成立—「ノダ文」の疑問文型の時間的変異—」、日本語文法学会第24回大会、パネルセッション (大会委員会企画)「ノダ文研究の現在地—ノダの時空間変異から見た研究の展開—」、関西大学、2023.12.3

(7) 受賞

2015 年度～2016 年度、住友生命保険相互会社「未来を強くする子育てプロジェクト」、第9回女性研究者奨励賞、課題名：日本語コミュニケーションにおける疑問文の役割—疑問文多機能化の通時的分析を通して—

3. 主な社会活動

(1) 非常勤講師

山野美容芸術短期大学日本語別科 (2014.12～2015.8)

昭和女子大学全学共通教育センター (2015.4～2017.3)

筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター (2015.9～2017.3)

昭和女子大学人間文化学部日本語日本文学科 (2016.4～2017.3)

慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター (2016.9～2017.3、2024.4～現在)

(2) 学会

日本語学会事務局委員 (2018.6～2021.5)

日本語学会国際化推進小委員会委員 (2021.11～2023.10)

日本語文法学会大会委員 (2022.4～現在)

東京大学国語国文学会評議員 (2013 年度～現在)